

# 病院運営における がん登録体制のあり方に関する研究

滝澤 雅美<sup>1)</sup>、山本 康弘<sup>1) 2)</sup>

1) 国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科

2) 国際医療福祉大学大学院 診療情報アナリスト養成分野



# 背景1

## ◆ 全国がん登録

- 平成28年1月以降に全ての病院と指定診療所でがんと診断された全患者を登録する「全国がん登録」が開始された。
- 全国がん登録は、がんの診断・治療を受けた全てのがん患者のデータを国で1つにまとめて集計・分析・管理する仕組みであり、罹患数や進行度、生存率などの情報の基になっている。

## ◆ がん診療拠点病院

- 質の高いがん医療の全国的な均てん化を図ることを目的に整備された病院である。

都道府県がん診療連携拠点病院	各都道府県の中心的な施設となる病院
地域がん診療連携拠点病院	二次保健医療圏に概ね1か所程度整備される病院



# 背景2

- ◆ 全国がん登録が開始され、質の高いがん医療を提供する役割のあるがん診療拠点病院におけるがん登録の実施体制を明らかにすることは、**がん情報の提供に関わるため、大変重要である。**
- ◆ 筆者が調査した範囲では、特定の地域における受療動態と生存率に関する文献やがん登録データの集計結果についての文献、1病院の院内がん登録に関する文献などであり、**がん診療拠点病院における職員の配置状況についての文献は報告されていない<sup>1)~6)</sup>。**

# 目的

- ◆本研究はがん診療拠点病院におけるがん登録の実施体制を明らかにすることを目的とする。

# 方法1

## ◆ 調査対象: 396病院(全国)

- 地域がん診療拠点病院および都道府県がん診療拠点病院
- がん登録を担当している実務者1名

## ◆ 調査方法: 郵送法

## ◆ 調査期間: 平成28年11月18日～平成29年2月18日

## ◆ 調査項目:

- 病床数
- がん診療拠点病院の種類
- DPC導入の有無
- 電子カルテ導入の有無
- 所属
- 職員数(配置状況別: 専従、専任、兼任)

### 100床あたりの職員数

算出式:  $\text{職員数} / \text{病床数} \times 100\text{床}$

(認定資格別: がん登録初級者、中級者、指導者)



# 方法2

## ◆ 分析方法:

- 地域がん診療拠点病院を1群、都道府県がん診療拠点病院を2群に分け、専従、専任、兼任の100床あたりの職員数および認定資格別の100床あたりの職員数についてMann-WhitneyのU検定を用いて分析を行った(有意水準:  $p < 0.05$ )。
- 本研究においては、国際医療福祉大学の倫理委員会にて承認を得た後、調査を行った(承認番号: 16-10-127)。



# 結果1

-回答率等-

- 有効回答率

- ・24.5% (97病院/396病院)

- 回答区分における回答状況

区分	件数	割合
1群 (地域がん診療拠点病院)	82	84.5%
2群 (都道府県がん診療拠点病院)	15	15.5%

# 結果2

## -回答病院の状況-

### ● 回答病院の状況

病床数	件数	割合
200床未満	0件	0%
200床～299床	3件	3.1%
300床～399床	10件	10.3%
400床～499床	24件	24.7%
500床～599床	10件	10.3%
600床～699床	23件	23.7%
700床～799床	10件	10.3%
800床～899床	9件	9.3%
900床～999床	2件	2.1%
1000床以上	6件	6.2%

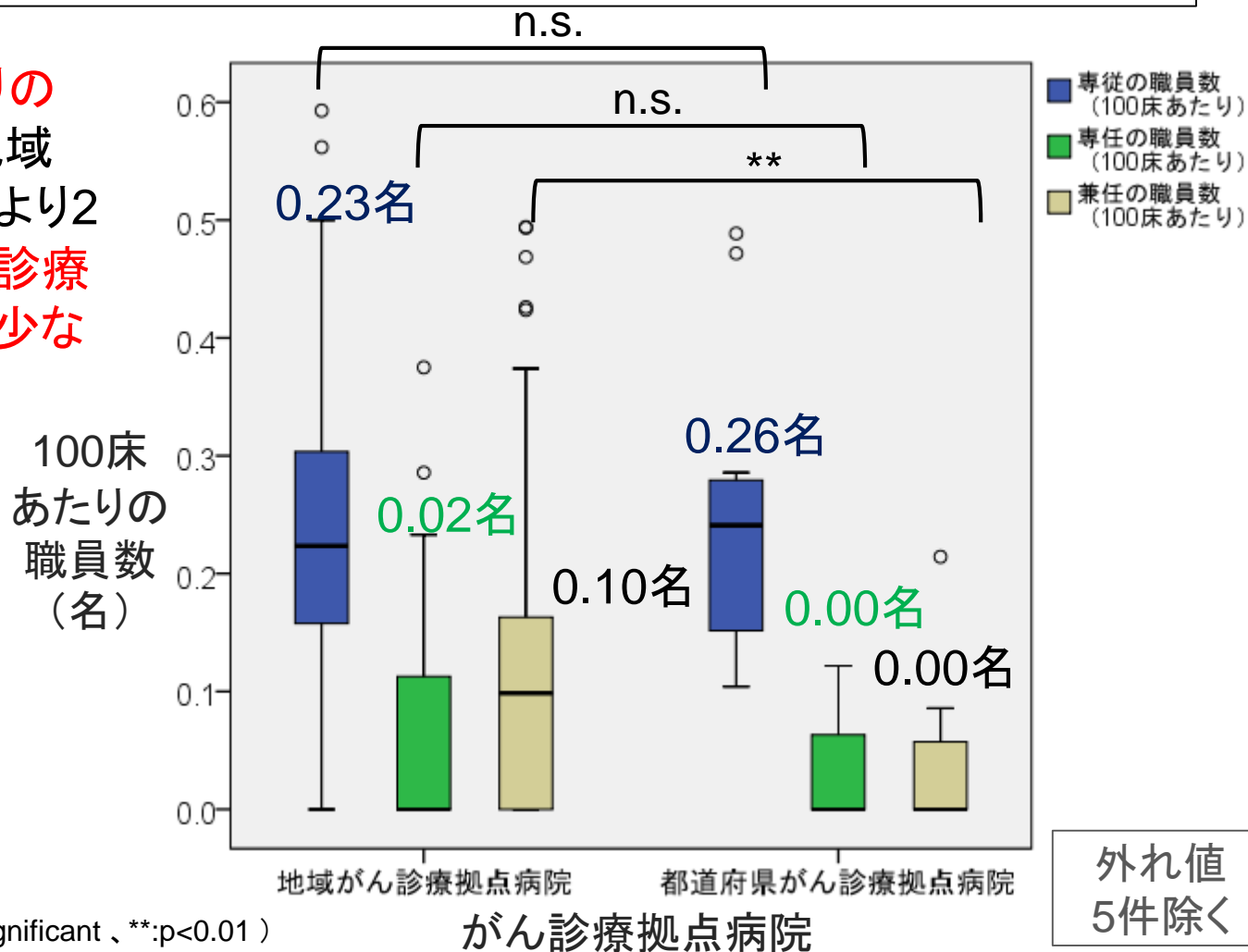




# 結果3

## -配置状況別-

- 兼任の100床あたりの職員数は、1群の地域がん診療拠点病院より2群の都道府県がん診療拠点病院が有意に少なかった。

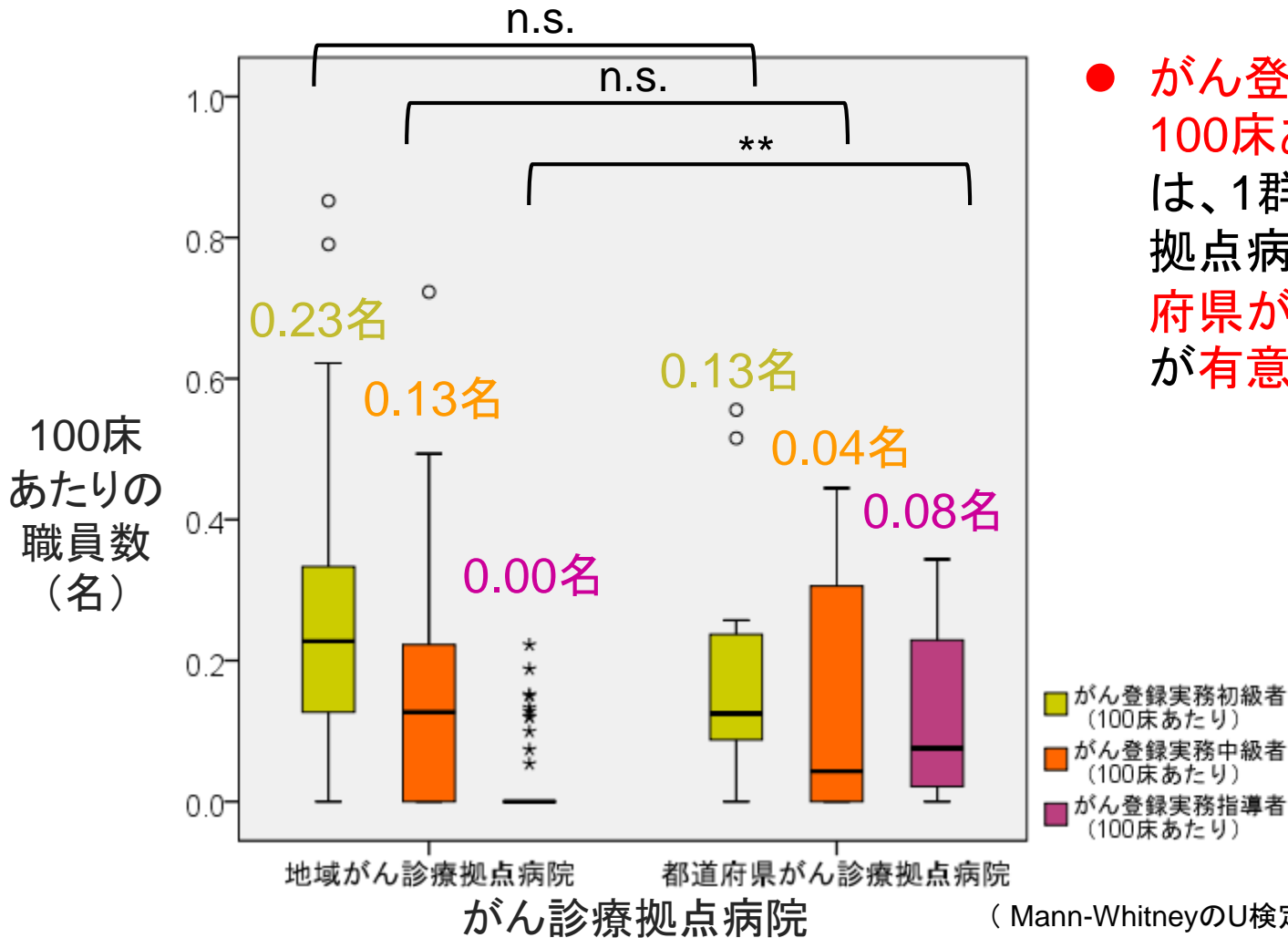


( Mann-WhitneyのU検定 : n.s.:not significant 、 \*\*:p<0.01 )



# 結果4

## -認定資格別-



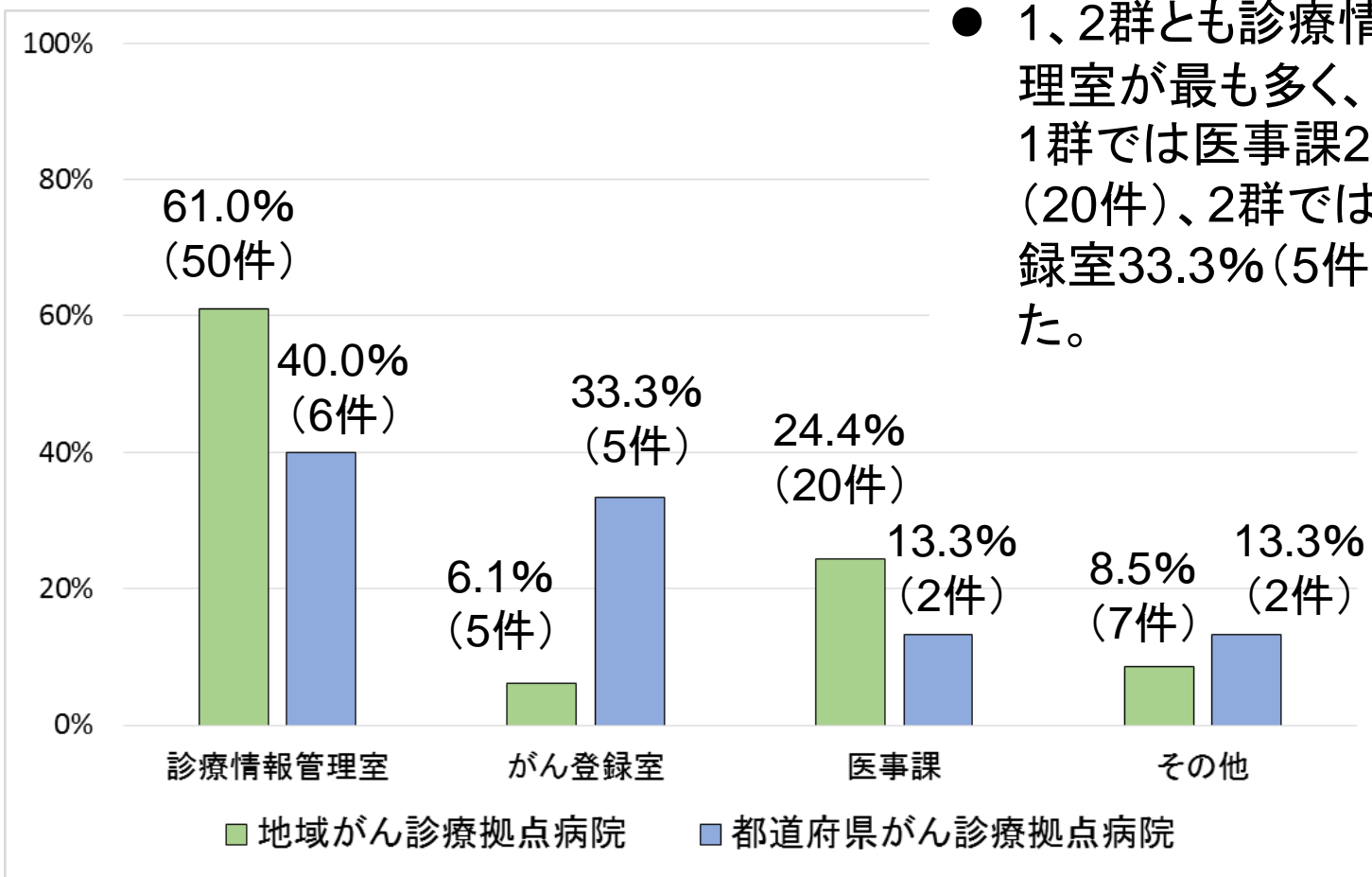
- **がん登録実務指導者の100床あたりの職員数は、1群の地域がん診療拠点病院より2群の都道府県がん診療拠点病院が有意に多かった。**

( Mann-WhitneyのU検定 : n.s.:not significant 、 \*\*:p<0.01 )



# 結果5

## -所属別-



- 1、2群とも診療情報管理室が最も多く、次いで、1群では医事課24.4% (20件)、2群ではがん登録室33.3% (5件)であった。

# 考察

- ◆ 都道府県がん診療拠点病院では地域がん診療拠点病院に比べ、専従と専任の職員かつ、指導者の資格を持った職員が配置されていることが分かった。
- ◆ がん登録業務は診療情報管理部門で実施されている病院が最も多いことに加え、都道府県がん診療拠点病院では独立した部門であるがん登録室が設置されていることが分かった。

# まとめ

- ◆ 都道府県がん診療拠点病院では、がん登録専門の職員が配置されているだけでなく、独立した部署が設けられていることが分かった。



# 引用・参考文献

- 1) 岡本幹三,尾崎米厚.鳥取県内の二次医療圏におけるがん患者の受療動態と生存率.JACRM onograph2016;22:121-125
- 2) 辻一郎.がん登録と全国集計報告全国がん登録データとがん検診の評価.日本乳癌検診学会誌. 2017;26(1):58-61
- 3) 岡本邦男,伊藤百合子,稲葉知己.当院における院内がん登録について.香川県立中央病院医学雑誌2017;36:14-17
- 4) 中川弘子,伊藤秀美,松田智大ら.愛知県における2012年のがん有病数の推計.JACRMOnograph 2016;22:173-176
- 5) 歌田真依,杉山裕美,松田智大ら.がん登録の精度管理基準に関する研究.JACRMonograph 2016;22:166-168
- 6) 仙谷和弘,小川郁子,小笹晃太郎ら.広島県腫瘍登録における唾液腺腫瘍の解析. JACR Monograph2016;22:179-181
- 7) 国立がん研究センター.全国がん登録.全国がんと登録とは.[http://ganjoho.jp/reg\\_stat/index.html](http://ganjoho.jp/reg_stat/index.html)
- 8) 厚生労働省.がん診療連携拠点病院等.[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/gan/gan\\_byoin.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/gan/gan_byoin.html)

